



斉藤かつみ

No.41
2012.1
通信



和光市市議会議員
TEL.201-5602

<http://www.komei.or.jp/km/wako-saito-katsumi/>

墓地条例改正を検討、電力契約変更で年160万円の削減!

12月議会では、「補助・扶助事業の見直し(ふれあい施設整備事業補助金)、ファシリティマネジメント、PPSと電力使用量の抑制、和光市墓地条例改正、特別支援教育」などについて質問しました。(以下は一部を要約したものです)

来年24年度に見直しとなる事業は?

和光市では昨年から補助・扶助事業の見直しを進めていますが、来年24年度の見直しをする補助制度は?

24年度見直し予定の事業は自主防災組織活動事業補助金、防犯灯設置・修繕事業補助金、和光市コミュニティ協議会補助金、和光市ふれあい施設整備事業補助金、和光市自治会連合会補助金、和光市民体育祭補助金、和光市体育協会補助金、環境にやさしいまちづくり市民団体補助金、和光市身体障害者福祉会補助金、心身障害児・者を守る会補助金、心身障害者地域デイケア施設補助金、小児慢性特定疾患児日常生活用具給付、高齢者世帯住みかえ住宅家賃助成、指定保養所利用料金補助金の16事業で見直しが行われます。

この夏の節電の効果とPPS、あるいは電力使用量の抑制

PPS(特定規模電気事業者)のその後の検討は? また、契約電力は1年間を通じて最大の需要電力を基準として決定されるが、最大電力契約を見直すべきでは?

答弁では 特定規模電気事業者PPSとの電気事業契約は、安定した電力供給の見通しが立たないことから、動向を見据えながらPPSへの転換を時期等も含め検討。また、契約電力は、12月に見直しを行い、契約電力を1,000kWから900kWへ変更。この見直しにより月当たりの基本料金が約13万円減となり、今年度3月までで約50万円、来年度以降は年間約160万円の経費削減ができる見込みです。

開発に伴う和光市墓地等の経営の許可に関する条例の改正の検討

平成18年に市長、市議会あてに墓地建設反対の陳情がなされ、検討の結果、条例が改正された。墓地建設を取り巻く状況の変化をふまえ、条例改正が必要ではないか?

答弁では 平成18年の条例改正で、現在まで墓地による乱開発をある程度未然に防止ができた。今後の条例の改正は墓地経営の持続性を担保することが第一。引き続き乱開発の防止と地域環境に配慮した墓地計画がなされるよう、直近の他の市町村等の事例等も踏まえ、早急な改正に向けて検討をしていきたい。

和光市の特別支援教育の現状と、特に通常の学級に在籍する支援を要する児童に対するケアについて

御自分のお子さんを心配される保護者の方からお話を伺うと十分な人員配置を要望されている。通常の学級に在籍する支援を要する児童に対するケアについては?

答弁では 通常の学級に在籍する支援を要する児童は、年々増加の傾向にあります。各学校で特別支援教育コーディネーターを中心とした校内委員会の取り組みにより、個別の指導計画に基づき、指導に当たっています。今後とも、学校の特別支援の体制整備や教員の指導力向上に努め、発達障がいを含む障がいのある児童・生徒が在籍するすべての学校において、特別支援教育の充実が図られるよう取り組んでまいります。

斉藤かつみホームページは

<http://www.komei.or.jp/km/wako-saito-katsumi/>



このモバイル向けメールマガジン登録 QRコードからメルマガ登録ができます。
お役に立つ情報、和光市政のホットな話題、斉藤かつみの活動などお届けして参ります。



- 副議長
- 文教厚生常任委員会委員
- 公明党和光支部支部長

写真は2009年のツールド千葉で完走した時のもの。



和光市駅北口壁画の実現、太陽光発電助成制度、市役所の土曜開庁、粗大ゴミの運び出し収集など、多彩な実績!